

## 保護帽の着用が適用除外となる昇降設備の条件(具備すべき条件)(案)

項目	基準
設置場所(車両設置(取付)型の場合)	リア、サイド、あおりなど車体側面から突出して1ヶ所以上設置されていること
踏面の段数	地面から荷台までの間に、1段以上設置されていること
踏面の段差	地面から踏面までの段差、50cm以内である (*2段以上の場合、段差ごとの間隔、50cm以内である)
踏面の滑り止め加工	踏面表面上に滑り止め加工がされていること (*摩擦向上を目的とした砥粒塗布、滑り止めテープあるいはパンチングプレス)
踏面の形状*	板状又はスリット状であること (*角柱状や棒状等の場合には、3点支持による昇降可能な手がかり(グリップ)があること)

## 参考

## トラックミキサの安全要求事項(JISA8614)

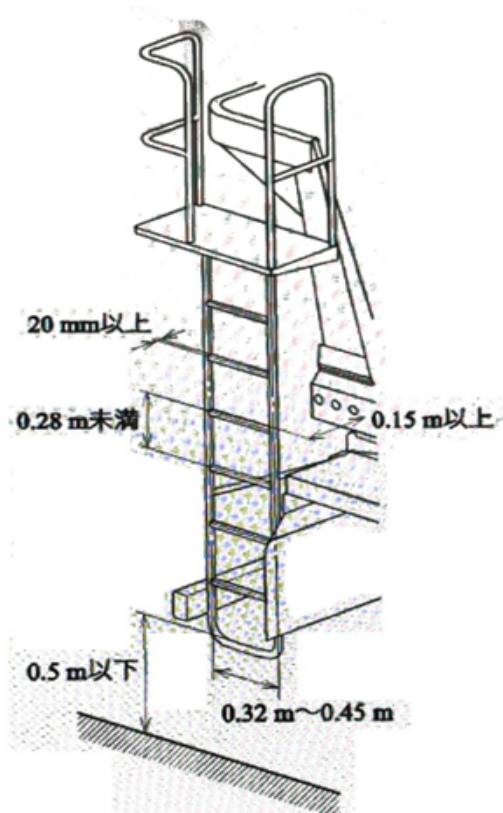
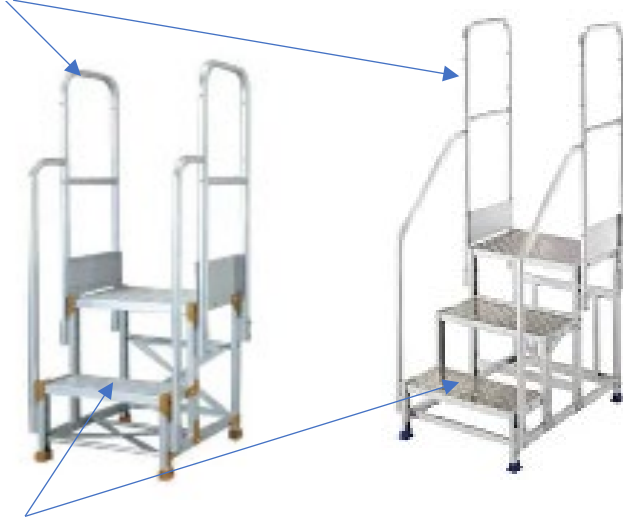


図 2- はしごの寸法

荷役場所据置型昇降設備

手がかり(手すり)



踏面(板状)



車両設置(取付)型昇降設備



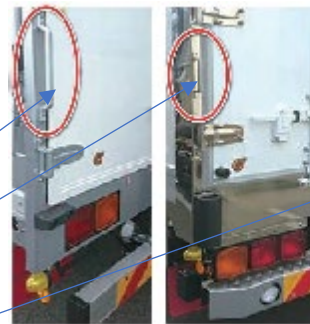
踏面(板状)



踏面(板状)



踏面(角柱状/棒状)



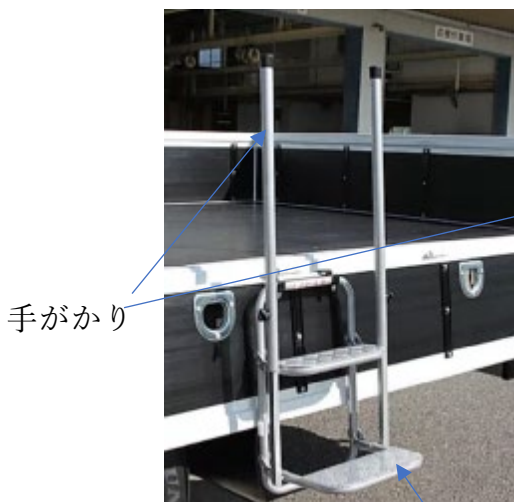
▲リヤドア(両側フレーム)に取付け

▲リヤドア面に取付け

手がかり(グリップ)

荷役作業時取付型昇降設備

\*写真例の平ボディやウィング車は、適用除外できない



踏面(板状)



踏面(角柱状/棒状)



踏面(棒スリット状)

手がかり